

『KAMEOKA Circular Project』

カメオカ サーキュラー プロジェクト

モデル回収(実証事業)へのご協力をお願いについて

亀岡市資源循環推進課

亀岡市では、サーキュラーエコノミーの実現に向けて、民間企業と連携し、市民排出のプラスチックを自動車部品として使いこなす技術を開発する実証事業に取り組んでいます。

モデル回収へのご協力の程、よろしくお願いいたします。

○実証概要: 静脈産業、動脈産業と自治体が連携し、プラスチック類を使いこなす技術の開発

・連携事業者:

トヨタ紡織株式会社: 国内最大級のプラスチック使用量の自動車部品メーカー(トヨタグループのルーツとなる大正18年創業の企業)

株式会社富山環境整備: 国内トップレベルのプラスチック選別設備を保有するリサイクラー

永興物産株式会社: プラスチックの物性を向上する調合技術を有するコンパウンダー

ごみの学校: 市民向け啓発やワークショップなどを手掛ける亀岡発の環境スタートアップ企業

・実証事業の期間: 令和7年4月から令和10年3月までの3年間(今年度は2年目)

うちモデル回収の期間: 令和8年7月から令和8年9月の3カ月

・対象地域: 西つつじヶ丘・南つつじヶ丘

・回収対象: ポリプロピレンを中心としたプラスチック(詳細は裏面をご参照ください)

・回収方法: 資源ごみ集積所での収集(週1回 プラスチック類の日 毎週水曜日)

・排出方法: 事前に配布する実証事業用のごみ袋

※実証事業の対象外のプラスチック類は、通常通り市販の袋で排出をお願いします



技術開発状況
のフィードバック



技術課題

- ・VOC低減
- ・分別、選別
- ・におい除去
- ・異物除去
- ・耐衝撃性
- ・材料ばらつき



プラスチック原料販売・着色コンパウンド



○モデル回収の対象: 下記の3品目を除くプラスチック類

アルミ付きのプラスチック



NG!

発泡プラスチック



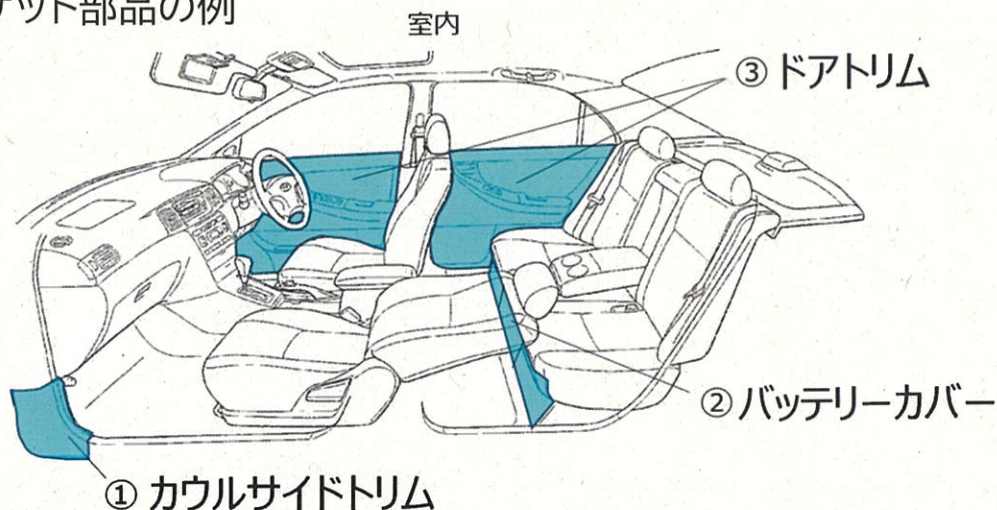
NG!

PET



NG!

○技術開発のターゲット部品の例



自動車部品の材料として、供給側と需要側が協力して技術開発に取り組み、自動車への実装目指して実証に取り組んでいます。

実証事業の背景

○欧州の法規制

- ・2023年7月 EUがELV規則案を発表(欧州で販売する新車に、リサイクル材(プラスチック)の使用を義務付ける法規制)
- ・2025年12月 EU加盟国間で規制内容を合意
ELV規則採択の6年後 15%以上のリサイクル材使用を義務化
ELV規則採択の10年後 25%以上のリサイクル材使用を義務化
- ・現在 EU議会での正式採択を待つ段階(年内に採択されれば、2032年から義務化)

○日本の自動車産業の現状

- ・自動車産業が使用するプラスチックの量は膨大(普通車1台あたり200kg程度)な一方、求められる品質要求値は高いため、現時点ではほぼすべての自動車部品が石油由来のバージン素材を使用しており、自動車部品に使用できる質の高いリサイクル材は国内で大幅に不足している
- ・日本の中古車は、質が高く、廃車後も多くが海外輸出されるため、国内の廃車から確保できるリサイクル材だけでは供給量が大幅に不足する
- ・ELV規則が採択されると、年間30数万tのリサイクル材の不足が想定されている
- ・中東などの産油国の政情不安による石油製品の安定供給リスクも顕在化している

○自治体(亀岡市を含む)のプラスチックリサイクルの現状

- ・家庭から排出されるプラスチック類は様々な種類(ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリスチレンなど)が含まれており、リサイクル材の市場価値は低いため、廃棄物処理経費としてリサイクル費用が発生している

○実証事業の目的

- ・自動車産業(トヨタ紡織) プラスチックの質と量を確保し、国際競争力を維持
- ・リサイクラーとコンパウンダー 新たな市場の開拓
- ・亀岡市 リサイクル費用の低減